

# ☆ごみを減らすためにできること☆

ごみの量は、日頃の暮らしの中のちょっとした工夫で減らすことができます。

例えば・・・

## ○生ごみは、水切りをしっかりと

各家庭でしっかりと水切りをおこなうと、町全体で大きなごみの減量につながります。

## ○きちんと分別しよう

燃えるごみの中に、資源ごみが混じっていませんか？特にお菓子などの空き箱や包装紙、デパートの買い物袋などが燃えるごみに混じっていることが多いようです。これを古紙や紙製容器包装として分別して出すと、ごみ袋を節約でき、可燃物が減量できます。

## ○モノを長く大事に使おう

新しいものを買ったから、使わないものを置いておくとジャマになるからと、まだ使える家電製品などを捨ててしまっていないですか？ちょっとした故障などは修理して、長く使うようにしましょう。また、まだ使えるものは、リサイクルショップに持ち込んだり、知人に譲ったりすることもリサイクルのひとつです。

## ○買い物のときにはマイバッグ持参で

スーパーなどのレジ袋も使用後はごみになります。マイバッグなどの入れ物持参で買い物をし、レジ袋はもらわないようにしましょう。

## ○ごみになるものなるべく買わない

過剰な包装のものやあまり必要でないものは、買う前によく考えましょう。また、詰め替えできる商品を選ぶこともごみの減量につながります。

大山町では、家庭用電気式ごみ処理機の購入補助の制度を設けています。また、コンポストとボカシのあっせんもおこなっていますので、ご希望の方は、本庁住民生活課または各支所住民課へお問合せください。



現在、可燃ごみの一部は境港市へ処理をお願いしていますが、平成18年度から、さらにごみの減量化をすすめ、経費がかからないように大山町内のすべての可燃ごみを町内の2施設で処理する計画です。

町内の可燃ごみは、町内で処理し、経費節減

可燃ごみ、不燃ごみ等が増え続けると、現在の最終処分場(米子市淀江町)で処理することが難しくなります。また、自然にかえらないものが増えることは、環境への負担が大きくなります。

ごみが増え続けるとどうなるの？